

リテールAI ソリューション



アリババのリテールビジネス

デジタルビジネスの常識をリアルなリテールビジネスに延長を行い、様々な最新技術を導入

Intime (百貨店)



中国国内に60の大型百貨店を展開

デジタルマーケティングを
中心としたDXを推進。

Freshippo (スーパーマーケット)



中国国内に360店舗を展開、
2024年度中に400店舗に拡大予定

アプリでも店舗でも購入した商品を
30分以内にお届けする
バイク便での配送を前提とした立地戦略

Darufa (スーパーマーケット)



211の都市に485店舗の大型スーパーを展開

中国の庶民的なスーパーとして展開

ニューリテールからの学び

様々な検証の結果、「万引き対策」と「顧客・接客の可視化」が投資対効果が高いことが判明

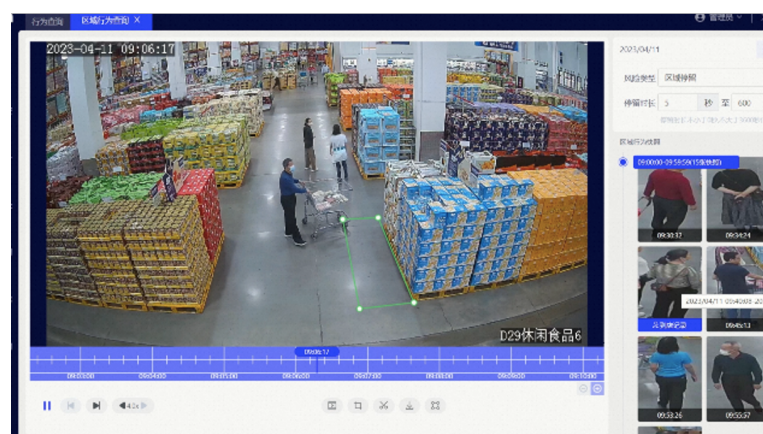
AI無人レジ万引き対策

既存のPOS端末に取り付けることで、POSレジでの万引き行為を検知。
システムと連携することで95%以上、非連携で85%以上の検知率を実現。



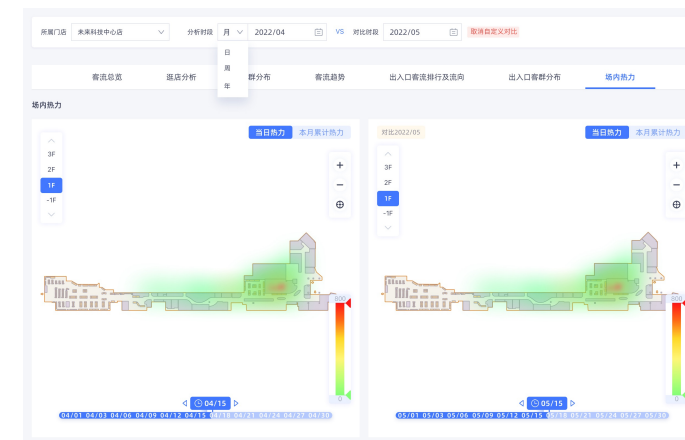
AI店舗内万引き対策

店舗内の既存の監視カメラと連携することで、盗難対策、破損行為、高額商品購入追跡、ブラックリストなどの高度なAI機能を実現。
人的な監視に依存しないオペレーションが実現



AI顧客人流・接客可視化

来店者属性、接客時間数など、店舗の経営に重要となるKPIを監視カメラから数値化



ニューリテールAIソリューション概要



AI無人レジ 万引き対策ソリュー ション



AI無人レジ万引き対策ソリューション

既存のPOSレジに取り付けることで、85%以上の確率で異常を検出。

店舗POSシステムと連携不要、
1日で導入が完了

カメラと警告灯が一体となった
ハードウェアとしてのご提供。
既存の無人レジに1日で取り付け・
設定が完了

多様な警告設定とレポートに対応

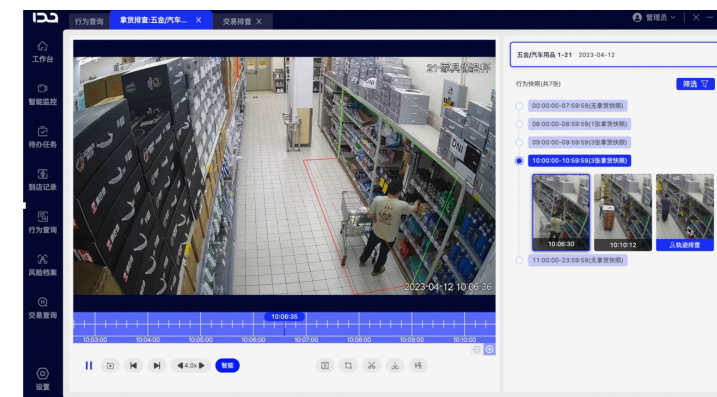
店舗の状況に応じた
様々なアラートの感度、
対応方法の設定が可能。
オンラインからアラート状況をリアルタイムで
レポートとして確認が可能。

店舗警戒システムと連携

高額商品や万引きされやすい商品を
手に取った来店者を追跡。
POSレジで未購入の場合に警告を行う。



320000000	198969896
商品数	商品数
90.00%	9009808
商品数	商品数
9009808	10280000.20
商品数	商品数



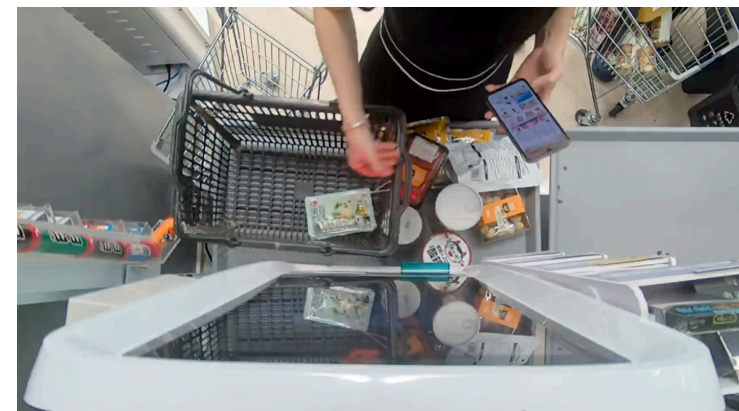
事例：AI無人レジ万引き対策ソリューション



同一商品の2個目をスキャンせず梱包
↓
警告



スキャンに失敗、バッグに入れる
↓
警告



スキャンに複数回失敗
↓
店員がサポート

事例：AI無人レジ万引き対策ソリューション



<ケース1>

- ・ 通常10レジあたり2名のスタッフ配置→1名対応に削減
- ・ 1日で7225回POSスキャンが行われる店舗にて、114回の異常を警告。
- ・ 114回の異常警告を店員が確認、うち96回の万引き行為が発覚。(84%)

<ケース2>

- ・ 警告灯とPOS画面警告表示により、85%の顧客が再度読み込みを実施
- ・ 警告のあった顧客の80%が自主的に再読み込み、20%は店員がアシスト
- ・ 当日と過去の店舗の販売実績との誤差から万引き対策システムにより、店舗で1日2万円、POS1台あたり2500円の万引き防止が行われたと推定。

AI店舗内 万引き対策ソリュー ション



AI店舗内レジ万引き対策ソリューション



AI店舗内レジ万引き対策ソリューション

売り場行動追跡調査

店舗内の顧客行動の
トレースの効率向上

高額商品購入監視

商品を手にしたか自動で識別
POSと連携し高額商品の購入確認

ロス発生チェック

監視対象エリアを動的に設定、
疑わしい人物を速やかに特定

要注意人物警告・追跡

リアルタイムで社内向けに警告、
カメラが自動追跡

ターゲットとなる入店者を設定、複数のカメラの映像から自動追尾を実施。倍速再生に対応。

- ・ 認識：顧客が商品を手に取り、積み込む動作を自動認識。
- ・ 通知：高額商品を手にした顧客の存在を警備員に通知、フォローアップ。
- ・ 追跡：高額商品を手にした来店者を追跡、レジに向かうか確認を行う。

- ・ エリア滞在検索：検索するエリアをカスタマイズし、エリアに入る歩行者を表示。
- ・ 行動追跡：不審者を自動的に現場の軌跡を追跡するビデオを再生する。
- ・ 履歴遡及：不審者の来店履歴を照会。
- ・ フォレンジック：不審者の追跡映像を保存/ダウンロード

- ・ 盗難の疑い、変質者、無許可者などをリアルタイムで平面上にマッピング
- ・ リアルタイム追跡：自動的に追跡ビデオを生成。
- ・ リアルタイム識別：会場内の行動をリアルタイムで識別し、多次元データと組み合わせ総合的なリスク判定を行う。

- ・ 追尾とカメラ自動切り替え：カメラの地点を理解した上でのカメラの切り替え業務が不要に。
- ・ ビデオの自動再生により、手動での頭出しが不要。
- ・ 証拠としてビデオの出力が必要な場合、速やかなダウンロードが可能

棚認識と人体の関節動作認識を組み合わせ、高単価の商品を正確に探し出し、90%以上の商品認識精度を実現。

- ・ 手を取る動作と支払い行動の自動連携により、不審なピックアップの場所を特定・発見する時間を大幅に短縮
- ・ ワンクリックで不審者の行動ビデオをダウンロード
- ・ 自動追尾により、不審者のビデオ追跡効率は4倍以上アップ

- ・ リスク警告、イベント駆動型、マルチチャンネル対応、警告精度99.5%。
- ・ ビデオ自動追跡、現場追跡の工数を大幅に削減、
- ・ リアルタイムの人探し（迷子、高齢者等）、リアルタイム写真検索による対象者の位置確認が可能。
- ・ 目視による地図位置のリアルタイム更新、位置誤差は±10cmに制御可能。

導入成果

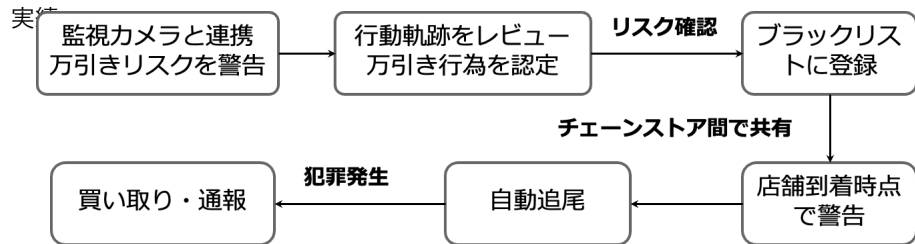
中型スーパー：売り場全体を監視

課題

従来の警備員と監視カメラによる監視に依存、手作業による棚卸しによる店舗での紛失防止。

- 開放型の出入り口、引換券をチェックしないビジネスモデルのため万引きの被害が大きい。
- お一人様限定商品を複数回購入するなどの行動により、店の利益を圧迫。
- 逮捕と処分は警備員に依存しており、無作為で効果が薄く、対応件数にも限界がある。
- 過去に遡っての検証には時間がかかり、人間の経験と記憶に頼った検出のため、費用対効果が低い。

ソリューション



→棚卸損失：50%削減

→事案検出効率：400%向上

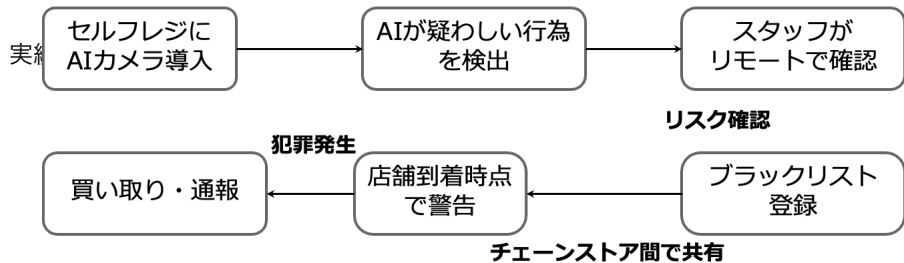
大型スーパー：セルフレジを監視

課題

監査スタッフによる人監視+エラー時にPOSをロックし店員の確認後に再開というプロセスで盗難を防止

- 3台のセルフレジに対してスタッフが1名対応するため、コストが高い。対応中に新たな万引き行為が発生。
- 頻繁に画面がロックされるため、取引時間が長くなり、カスタマー・エクスペリエンスが低下し、ピーク時には行列が発生。
- 監査員は複数のPOSに目を配りながら顧客をサポートする必要があり、盗難は基本的に現場では発見できない。

ソリューション



→被害回収率：30倍

→月平均回収金額/店舗：数十万円

ご清聴ありがとうございます